

2024年度商社リーグ 第1回代表者会議 議事録

日時	2024年9月10日(火)19:30-21:15
会場	対面・Zoom
出席チーム	下記参照
欠席チーム	なし
議事録	阪和興業/大森、水沢

議題		出席者			
1 はじめに		役員会			
2 各社進捗確認		金田（Zoom）、浅井、赤司、高柳（Zoom）			
3 蜘蛛の巣グラフ意図・運用について		丸紅		三井物産	菅原、大矢
4 役員会からの連絡事項		豊田通商	中川、小池（Zoom）、藤井(Zoom)	伊藤忠商事	小坂、森
5 おわりに		阪和興業	大森、水沢	日鉄物産	本田、川上
		双日	中井、杉山	住友商事	小山、蒔田
		兼松	新田、曽根原	JFE商事	椎原

1 対応事項	内容	期日/担当
① 役員会、主幹事への報告	三井物産は今後のチーム運営の方針、改善策について報告する。	チーム内話し合い後/三井物産
② メーリングリストのテストメールの採点	阪和興業は蜘蛛の巣グラフに左記を追記・報告する。	即時/阪和興業
③ 今後の試合日程について	住友商事は次節の試合日程の情報を共有する。	9月15日/住友商事
2 決定事項	内容	期日/担当
① なし		
3 情報共有及び注意喚起事項	内容	期日/担当
① MC報告書の記載方法について	試合の延期・中止の際は試合のスコア欄に0ではなくハイフンを記載する	MC報告書作成時
② 代表者会議参加者について	今後の代表者会議には中心メンバーが1名以上参加すること。	以降会議時/各社
4 意見交換及び審議事項	内容	期日/担当
① 不可日程申請、グランド確保について	役員会赤司氏より議案、下記記載。	
5 講義及びその他	内容	期日/担当
① 蜘蛛の巣グラフの運用について	金田氏より蜘蛛の巣グラフの意図、運用について講義	

<内容>

1.はじめに

役員会/浅井

各社多忙の中、集合したことに対して感謝を示す。

2.各社進捗確認

住友商事/小山

蜘蛛の巣グラフ： 開幕戦が台風により延期になったため更新はなし。

事前不可日申請： 双日・三井物産・豊田通商からの申請は確認できていない状況。
・双日 申請したはずだが申請完了メールが届いていない状況。
・三井物産 期限遅れ。原因はチーム内で責任の所在が明確になっておらず1人に任せきりになっていた。結果としてその1人の失念により期限遅れに至った。今後はチーム内で声掛け、周知を行い改善する。
・豊田通商 9月6日に事前申請済みだが、住友商事の方で確認が取れていなかった状況。
本会議前に住友商事には報告、確認済み。問題なく事前申請は行われていた。

MC報告書： 開幕戦が台風により延期になったため更新はなし。

豊田通商/中川

チームデータ： 三井物産は提出遅れ。
住友商事、JFE、双日は不備あり、減点。不備のあった箇所の詳細については別途共有予定。

役員会/金田

今期から代表者会議はあえて対面で行っている。これはオンラインでは得ることができない価値があるものだと考えている。
蜘蛛の巣グラフの運用を行う意図と理由を考え、2名程意見を発表してほしい。

住友商事/小山

サッカー以外の面も蜘蛛の巣で形として現れる。自分の会社には足りないところを可視化できる。
これが商社リーグならではの醍醐味としている重要な部分であると考えます。

役員会/金田

小山氏の意見が100点満点だと思うが、正解があるわけではないので更に2チームほど意見を聞きたい。

兼松/曽根原

自主運営を掲げる商社リーグにおいては特にサッカー以外の部分を重要としている。
これを可視化できるのが蜘蛛の巣グラフであると考えます。

双日/中井

サッカーだけでなくピッチ外でも会社としての総合力が問われる商社リーグにおいてはこれを可視化できる蜘蛛の巣グラフは非常に有効。
双日は昨年度の蜘蛛の巣グラフでは高水準だったが、今年度はミスが目立つ。今後改善していく。

3. 蜘蛛の巣グラフの運用について

役員会/金田 以前の代表者会議にてバリュースポジションの話をした。これを蜘蛛の巣グラフに落とし込むと上部がサッカーの結果、横軸が提出物等、下部がフェアプレーを表す指標となっている。

この蜘蛛の巣グラフの面積を広くするにはどうしたらいいか考えてみてほしい。

サッカーの結果のみ、提出物のみを求めてもこの蜘蛛の巣グラフの面積は大きくならない。

メールに残る程度のものであり、この蜘蛛の巣グラフが世に出るわけではない。一度の提出物のミスだけでもこのグラフの面積に与える影響は大きいもので面積を狭くすることは容易だが、面積を広げ、株を上げることは容易なことではない。

これは役員会が個人的な考えで作っているものではなく、リーグ全体を客観的にみる指標であり、リーグ全体で作り上げているものである。昨年の結果を見てほしい。この蜘蛛の巣グラフを確認すると横軸(提出物)の数字が明らかに低いことがわかる。

これはつまり、リーグの運営にとって足を引っ張っているチームが多いことを表す。この指標だけでそのチームの総合力を示すわけではないが、各チームが総意としてこの蜘蛛の巣グラフを作成し、互いに評価し合うことに同意していることを改めて認識すること。

メンバー登録等無くし、厳格なルールを撤廃することも可能ではあるがそれは商社リーグのコアバリューからは大きく逸れる。

どこで線引きするのか、どこまでこだわるのか今一度考えること。

ルールを守れないチームがルールを改訂しようとするのではなく、ルールを守ったうえで改善策やどうしたらこのリーグの運営がより良いものになるのかの意見を出してきてほしい。言い換えれば評論家になるのではなく、やるべきことをやったうえで新しい価値を生み出す事業家になってほしい。

引き続き蜘蛛の巣グラフはこだわって運用、改善すること。

今回の話を聞いて各チーム感想を述べてほしい。

伊藤忠/赤司 提出物に関しては伊藤忠も良くない数字ではあるがこの数字を改善することができれば他チームとの差別化を図れる。

今後改めて気を引き締めて他チームと差別化できるようにしていく。

JFE/椎原 提出物、審判では特にポイントの増減が大きい。特に日ごろの提出物に関しては増減が大きいため注意する。

役員会/金田 T警告の減点は何があったのか。

JFE/椎原 MCの宣誓で規定の1フレーズを言いそびれたまま試合が進んでしまい、その後議論や交渉はあったが認められずこのような結果になった。

役員会/金田 審判のレベルに関しては18年間とリーグを見ているが相当厳しい状況。これはJリーグなども同様で課題を抱えている。

商社リーグではあえて各チームのメンバーから審判を出すという体制をとっており、これは商社リーグだからこそできることである。

商社リーグのルールでは両チームのキャプテンが同意すれば審判を変え、MCチームを審判に変更することができる。

この仕組みは商社リーグにおいて重要な要素である審判を選択、宣言、監査できる有用な仕組みである。

この仕組みによってお金をかけなくてもプレイヤーの満足度を向上させることができる。

4. 役員会からの連絡事項

役員会/高柳 不可日申請に関して

双日は登録したが、申請完了のメールの届いていない件に関しては会議後に高柳氏との間でテストを行い確認予定。

役員会/金田 これが入札であれば申請できていなかったでは済まされない。申請が完了しているかどうか確認する程度であればメール一つで解決することであるため今後はこのようなことが無いよう心掛けること。

三井物産の年間の不可日申請、その他対応の期限遅れに関しては今一度重く捉えること。

今後も引き続きこのような状態が続いてしまうことが懸念される。今一度チーム内で今回の内容を共有、チームとして今後どう運営、改善していくかチーム内で話し合い、役員会・主幹事に報告すること。

MC報告書に関して

MC報告書で試合の中止や延期により点数の記入が不要な場合は0と記載するのではなく、ハイフンで記載を行うこと。

メーリングリストに関して

阪和興業はメーリングリストのテストメールの各チームの採点を行い、住友商事に報告すること。

役員会/高柳 開幕戦の中止について

みらい平グランドより台風の影響により開催は難しい旨連絡あり、中止を決定。

今後の試合日程について

住友商事より10月の試合日程について9月15日までに全体連絡を行う。

試合が中止になった際の対応について

基本的には年内で全試合終了となる予定。予備日の不可日申請は例年1月に行うが例年とは異なり前もって予備日の不可日申請を行う。

具体的には12月中にどの試合が流れた場合は1月のいつ試合を行うのかを事前に決めておく。

12月の試合が延期や中止にならなかった場合は予備日に練習試合を行う。

上記のために12月の時点で12月、1月の不可日程申請を行う。

上記の理由としては例年12月の延期を1月になってから再調整としていたが、各チームに連絡・相談を行うことに相当な労力がかかってしまっていたため。

5.おわりに

役員会/浅井	代表者会議日程について 基本的には役員会から提示した日程で行うが、一部役員会都合での変更の可能性もあり。 基本的には対面での実施を予定。
日鉄物産/本田	グランド確保の件について質問あり。 対戦表が完成していない段階でもこの日程で会場を抑えているか共有してもらえるだけでも人数の確保につながるのではないかと。
役員会/赤司	このような意見をもらえることは役員会としては非常に嬉しい。これまでも同様な議論を行うことがあった。こうした役員目線でも商社リーグを運営目線で考えてくれる人が増えてくれると嬉しい。各社の意見をご教示頂きたい。 伊藤忠：現状で特に問題はない。 兼松：人数確保という意味ではあまり効果はないと考える。 住友商事：会場および日程の展開だけではなく、事前不可申請をベースに仮作成した全予定表を展開する方が良いと考える。 双日：日程確定の連絡が早いほど人数の確保につながるのでできれば早めに連絡をしてほしい。 阪和：日程確定の連絡が早いほど人数の確保につながるのでできれば早めに連絡をしてほしい。 JFE:日程確定の連絡が早いほど人数の確保につながるのでできれば早めに連絡をしてほしい。
役員会/赤司	このような意見を直接聞けることは非常に有意義なことだと思う。引き続きこのような意見を出せる組織であってほしい。
役員会/高柳	今日の会議内容を再度チーム内で共有し、声掛けを積極的にしていくこと。会議は引き続き対面で行う予定だが参加者は二人とも新入社員等というようにならないよう、商社リーグの運営の内容を十分に理解できている人間が一人は参加すること。

以上